

自己評価

結果報告書(2021年度)

令和4年3月31日

学校法人共生学園

新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校

歯科技工士科

歯科衛生士科

目次

| | |
|-------------------------------------|-------|
| 1. 学校の教育理念・教育目標 | 2 |
| 2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画 | 2,3 |
| 3. 評価項目の達成及び取組状況 | 4 |
| (1). 教育理念・教育 | 4 |
| (2). 学校運営 | 5 |
| (3). 教育活動 | 6,7,8 |
| (4). 学修成果 | 8,9 |
| (5). 学生支援 | 9,10 |
| (6). 教育環境 | 10,11 |
| (7). 学生の受入れ募集 | 11,12 |
| (8). 財務 | 12 |
| (9). 法令等の遵守 | 13 |
| 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果 | 13,14 |

1. 学校の教育理念・教育目標

教育理念

共生社会の実現に向け、学生一人ひとりの個性を守り、育み、成熟した人間性の獲得を目指す。「素直・正直・謙虚」な心をすべての者が実践し、互いの能力、魅力、行動力を高め合い、その中で歯科医療従事者としての知識、技術、教養を身に着け、能動的に実行する人材を輩出する。

教育目標

常に歯科医療人としての立場を弁え、責任と覚悟を持った向上心のある人材の育成。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- 1－国家試験合格率 100パーセントの維持
- 2－入学者の定員充足と退学者・休学者ゼロの実現
- 3－多職種連携を意識したカリキュラムの構築
- 4－非常時における講義、実習内容の強化

1－国家試験合格率 100パーセントの維持

【歯科技工士科】

全員が国家試験を受験し、100%合格することが出来た。

【歯科衛生士科】

今年度も全員受験、全員合格を継続することが出来た。

2－入学者の定員充足と退学者・休学者ゼロの実現

【歯科技工士科】

1学年留年1名 2学年退学者2名 両学年休学者無し

最終学年で成績向上を目指していたが、結果が出せず出欠、学習に影響が出てしまった。

【歯科衛生士科】

1学年3名、2学年3名、3学年2名の退学者、留年2学年2名が出た。

特に卒業間際で学習意欲が削がれ、退学になった学生が出た事は、今後絶対に避けるべき事と考える。

3-多職種連携を意識したカリキュラムの構築

【歯科技工士科】

卒業研究、幼稚園実習を通し、それぞれ職業認識や役割を理解した。

合同実習においては印象採得後、共通する作業内容で得意分野を活かし互いに連携を図れた授業を行えた。

臨床現場での見学授業を行い、歯科治療に関わる各種業務の重要性を学んだ。

例年、石膏彫刻、技工作業も行っている。

【歯科衛生士科】

昨年度に続き、卒業研究および幼稚園実習を歯科技工士科と合同で行った。

加えて合同の歯磨き実習、歯科衛生士科が概形印象採得をし、個人トレーを歯科技工士科に発注、そのトレーを使い、シリコン印象材での精密印象を採得する実習を行うなど、さらに飛躍した実習を行った。

4-非常時における講義、実習内容の強化

【歯科技工士科】

コロナ感染者増加時期への対策、予定変更を早急に出来るようにした。

国家試験前には受験者の感染予防のため、他学年の遠隔授業も併用しながら、小規模授業などを行い感染リスクを下げ授業を行えた。

【歯科衛生士科】

コロナウイルス感染症による感染者が増加した際、または国家試験対策の際に3学年以外の学生に対し ZOOM での講義を実施した。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1). 教育理念・目標

評価項目 適切…4、 ほぼ適切…3、 やや不適切…2、 不適切…1

| | | |
|------------------------------|--------|---|
| 1. 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか | | |
| | 歯科技工士科 | 3 |
| | 歯科衛生士科 | 4 |
| 2. 社会の動向を踏まえニーズに沿った教育を行っているか | | |
| | 歯科技工士科 | 3 |
| | 歯科衛生士科 | 3 |
| 3. 学校の理念・教育目標・育成人材像の周知は十分か | | |
| | 歯科技工士科 | 3 |
| | 歯科衛生士科 | 4 |

現状

【歯科技工士科】

- 前記1の教育目的と方針に基づき実践をしている。
- 近年の流れに沿い、効率化・デジタル関係に対応できるよう、教育、育成を行っている。企業との連携を取り、求める人材を理解し、それにこたえられるよう人材育成に努める
- オープンキャンパスにより、生徒・保護者に周知している。

【歯科衛生士科】

- 教育理念で謳っている『成熟した人間性の獲得』に向け
接遇指導を強化し挨拶や言葉遣い、掃除の指導を実践している。
- デジタル化が進んでおり、働き方、効率化等の教育内容の取り組みを行い、社会のニーズに沿った教育、育成を努めている。
また、コロナ禍においても、感染防御対策の上、出来るだけ対面での講義、実習を行い、実際に行う事を大切にした。
- 体験入学やパンフレットにも謳っており、SNSなど様々な方向で周知をおこなっている。

◆ 点検及び今後の課題 歯科技工士科 9点

- 卒後の将来像、社会の情報を与える授業を増やしたい。
- 種々の媒体でもわかりやすく表記し、一層の効果をあげたい。

◆ 点検及び今後の課題 歯科衛生士科 10点

- 学習意欲を失ったり、心が疲れて休みがちになった学生や欠席が増えてきた学生が、また学校に日々通えるよう、サポートを強化する。

(2). 学校運営

評価項目 適切…4、 ほぼ適切…3、 やや不適切…2、 不適切…1

| | | |
|--|--------|---|
| 1. 教育目的等に沿った運営方針が策定されているか | | |
| | 歯科技工士科 | 3 |
| | 歯科衛生士科 | 3 |
| 2. 運営方針に沿った事業計画が策定されているか | | |
| | 歯科技工士科 | 3 |
| | 歯科衛生士科 | 3 |
| 3. 組織体制について運営組織や意思決定機能は、明確化されているか、有効に機能しているか | | |
| | 歯科技工士科 | 3 |
| | 歯科衛生士科 | 3 |
| 4. 人事、給与に関する規程・コンプライアンス体制等は整備されているか | | |
| | 歯科技工士科 | 3 |
| | 歯科衛生士科 | 3 |
| 5. 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか | | |
| | 歯科技工士科 | 3 |
| | 歯科衛生士科 | 3 |

現状

- ・学校運営方針は年度初めの教職員会議において各部署の事業計画・目標及び業務の円滑化を図るための業務分掌の説明がされる。
- ・年度の事業計画は、各部署にて事業計画を検討、3月に開催される理事会・評議員会において決定され、教職員会議にて教職員に周知される。なお、年12回開催される教職員会議で各部署の進行状況が明確に報告されている。
- ・人事・給与については、就業規則・給与規定に基づいて決定されている。
- ・コンプライアンスについては、各種法令に基づいて教職員に周知されている。
- ・教育活動等の詳細な学校情報については2019年度よりホームページにて情報公開を行っている。

◆ 点検及び今後の課題 歯科技工士科 15点

- 3 ミーティングで共通認識を一致させ、スムーズに運営できるよう努めたい。
- 4 随時、就業規則を見直し現状に即した運用に努めている。
5. シラバスは2019年より情報公開している。

◆ 点検及び今後の課題 歯科衛生士科 15点

3. 月に1度の教職員会議で各部署の進行状況が明確に報告されている。
- 4 随時、就業規則を見直し現状に即した運用に努めている。
5. シラバスは2019年より情報公開している。

(3). 教育活動

評価項目 適切…4、 ほぼ適切…3、 やや不適切…2、 不適切…1

| | | |
|--|--------|---|
| 1. 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか | 歯科技工士科 | 3 |
| | 歯科衛生士科 | 3 |
| 2. 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか | 歯科技工士科 | 3 |
| | 歯科衛生士科 | 3 |
| 3. キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか | 歯科技工士科 | 2 |
| | 歯科衛生士科 | 3 |
| 4. 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成見直し等、外部による評価が行われているか | 歯科技工士科 | 3 |
| | 歯科衛生士科 | 3 |
| 5. 授業評価の実施・評価体制はあるか | 歯科技工士科 | 3 |
| | 歯科衛生士科 | 4 |
| 6. 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確に示されているか | 歯科技工士科 | 3 |
| | 歯科衛生士科 | 4 |
| 7. 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか | 歯科技工士科 | 3 |
| | 歯科衛生士科 | 3 |
| 8. 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか | 歯科技工士科 | 3 |
| | 歯科衛生士科 | 3 |
| 9. 関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか | 歯科技工士科 | 3 |
| | 歯科衛生士科 | 3 |
| 10. 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか | 歯科技工士科 | 2 |
| | 歯科衛生士科 | 3 |

現状

【歯科技工士科】

- 1 教育方針に従い自覚、常識を身に着けられるよう教育を意識して編成、実施をした。
- 2 養成所規則に基づき目標とする到達レベルに進められた。
- 4 関係者施設との連携、情報を得られるような教育カリキュラム構築中、評価などに対し意見が得られなかった。
- 5 教科ごとに授業アンケートを行い評価材料としている。
- 6 学則に基づき、各項規定の基準は明確にされている。
- 7 養成所規則に基づき、資格取得に関する指導体制、カリキュラムは体系的に位置つけられている。
- 9 臨床も業務に組み込みながらバランスをとり、教育業務を行っている。

【歯科衛生士科】

- 1 教育方針に従い自覚、常識を身に着けられるよう教育を意識して編成、実施をした。
- 2 明確にされている。
- 3 即戦力のある歯科衛生士を育てるため、臨床に即した実習を取り入れている。
また、ノンテクニカルスキルや能動的な姿勢を高める為に、接遇やアクティブラーニング。
多職種連携を学ぶためには、介護福祉士や看護師、歯科技工士科との講義や実習を多く取り入れている。
- 4 月1回以上関連施設等とコミュニケーションを取り、改善点をカリキュラムに反映させている。
また、臨床実習受け入れの歯科医院とは、年2回医院ごとに会議を行っている。
- 5 年2回、学生による授業評価を実施し、改善を図っている。
- 6 明確にされている。
- 7 学年毎に、基礎、応用、復習と段階を踏んで指導体制を整えている。
- 8 資格、経験を備えた教員を確保している。また、卒業生を採用し、教員の要件を満たすまでの間に育成を行う事で、将来的な確保に繋げている。
- 9 体制を整えている。
- 10 コロナ禍であり講習会の参加は出来なかったが、勉強会で知識、技能を共有し、知識と技術の向上に努めている。

◆ 点検及び今後の課題 歯科技工士科 28点

- 9 実務経験のある教員の確保でき、教育面におけるサポートの充実に努める。
- 10 教員研修は個人に任されている面が大きい、情報の共有化を行い、質の向上を目指したい。

◆ 点検及び今後の課題 歯科衛生士科 32 点

- 1 次年度の編成、実施方針の決定に向け、改善点を常に模索する。
- 2 到達出来ない学生に対し、指導の改善点をカリキュラムに反映する。
- 3 さらに理解を深められるよう、見直しを行う。
- 4 カリキュラムへの反映は、即座に行う。
- 5 授業のみでなく、実習への評価方法も加える。
- 7 国家試験対策開始時期の前倒しを図る。
- 8 育成の為に、今後も知識、技能だけでなく、人間性を重視し、人材を確保する。
- 10 学生へ生きた教育を行えるよう、常に今を把握する。

(4). 学修成果

評価項目 適切…4、 ほぼ適切…3、 やや不適切…2、 不適切…1

| | | |
|--|--------|---|
| 1. 明確な基準に基づいた実践能力及び学習能力を単位履修の認定基準にしているか | | |
| | 歯科技工士科 | 3 |
| | 歯科衛生士科 | 3 |
| 2. 資格取得率の向上が図られているか | | |
| | 歯科技工士科 | 3 |
| | 歯科衛生士科 | 3 |
| 3. 就職率の向上が図られているか | | |
| | 歯科技工士科 | 4 |
| | 歯科衛生士科 | 4 |
| 4. 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか | | |
| | 歯科技工士科 | 2 |
| | 歯科衛生士科 | 3 |

現状

【歯科技工士科】

- 1 歯科技工士養成所規則に基づいた単位数・時間数以上で設定され、十分満たしている。
- 2 資格取得率向上は図られている。前年同様、資格取得率100%で維持できている。
- 3 就職率は毎年、100%の水準で維持されている。
- 4 卒業後は一部の把握でとどまっている。

【歯科衛生士科】

- 1 単位修復の認定基準は明確である。
- 2 近年は例年、在校生 100%受験、100%合格の実績がある。

3 全体に向けて就職セミナーを行い、個人に対しては就職相談を行っている。

4 卒業後も卒業生の状況を確認し、カリキュラムに反映する。

◆ 点検及び今後の課題 歯科技工士科 12 点

▶ 少人数制の特徴を活かし、一人一人の現状の把握、相談の環境を整えたい。

4 卒業後は全員の把握には至らない点があり、定期的に現状を知るためのアンケート調査など検討し、把握に努めたい。

◆ 点検及び今後の課題 歯科衛生士科 13 点

1 実践能力については、さらに詳細な基準を設け、取りこぼしの無いようにする。

2 さらに早期より国家試験を視野に入れた取り組みをし、より確実なものとする。

また点数だけにとらわれず、3年間個人を見守り続けてきた教員ならではの判断も大切にする。

3 資格を活かしながら、幅広い職種に就けるとい知識を得られるよう指導する。

4 卒業生のデータをさらに集め、学習内容に反映する。

(5). 学生支援

評価項目 適切…4、 ほぼ適切…3、 やや不適切…2、 不適切…1

| | | |
|--|--------|---|
| 1. 進路・就職に関する支援体制は整備されているか | | |
| | 歯科技工士科 | 2 |
| | 歯科衛生士科 | 3 |
| 2. 学生相談に関する体制は整備されているか | | |
| | 歯科技工士科 | 3 |
| | 歯科衛生士科 | 4 |
| 3. 学生の健康管理を担う組織体制はあるか | | |
| | 歯科技工士科 | 3 |
| | 歯科衛生士科 | 4 |
| 4. 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか | | |
| | 歯科技工士科 | 2 |
| | 歯科衛生士科 | 2 |

現状

【歯科技工士科】

1 施設利用や制限があったため、個々での相談と活動になった。

2 情報共有はされているため、相談に対する体制はいつでもとれている。

3 健康診断をおこない、衛生管理の徹底と健康管理の指導を行った。

【歯科衛生士科】

- 1 就職ガイダンスを2回取り入れた。
課題であった社会保険・福利厚生など学生の疑問を解消できる体制を整えた。
- 2 少人数制なので、教員間での生徒の情報共有は出来ている。
また、学生の相談時には複数又は教員全員で話を聞き、アドバイスが偏らないための体制を整えている。
- 3 コロナ禍という事もあり、2回の検温・登校時の靴裏、手指、含嗽消毒を行っている。
また、例年同様、登校及び下校時の挨拶を徹底させ、顔色等状況を把握するようにしている。
- 4 インターンシップやガイダンス等で現状の把握をした。

◆ 点検及び今後の課題 歯科技工士科 10 点

- ・ 全体的に外部の接触が少なく、今後はオンライン等の活用で対応できるものは検討したい。

◆ 点検及び今後の課題 歯科衛生士科 13点

- 1 学生が歯科医院以外への就職をイメージ出来るような指導も必要と考える。
- 4 インターンシップを予定していたが、行われなかった為、ガイダンス等で現状の把握をせざるを得なかった

(6). 教育環境

評価項目 適切…4、 ほぼ適切…3、 やや不適切…2、 不適切…1

| | | |
|---|--------|---|
| 1. 施設・整備は、教育上の必要性に十分対応できるようになっているか | 歯科技工士科 | 3 |
| | 歯科衛生士科 | 4 |
| 2. 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか | 歯科技工士科 | 3 |
| | 歯科衛生士科 | 4 |
| 3. 防災、安全管理にたいする体制は整備されているか | 歯科技工士科 | 3 |
| | 歯科衛生士科 | 4 |
| 4. 防火訓練を実施しているか | 歯科技工士科 | 4 |
| | 歯科衛生士科 | 2 |

現状

【歯科技工士科】

- 1 技工士科は45年以上、衛生士科は30年以上の歴史があり、機材設備に関しては、新しい機器の導入をすることにより十分に対応できている。また、技工物や器具器材の歴史も学べるよう展示している。

- 2 歯科医療に関わる実習施設との連携はとれている。
- 3 安全管理は、マニュアル化されている。
- 4 防災訓練は行えなかったが、校内の安全マップを作成し、防災器具、避難器具の説明をに周知した。

【歯科衛生士科】

- 2 歯科医療に関わる実習施設との連携はとれている。
- 3 安全管理は、マニュアル化されている。
- 4 防災訓練は行えなかったが、校内の安全マップを作成し、防災器具、避難器具の説明をに周知した。

◆ 点検及び今後の課題 歯科技工士科 13 点

- 1 応用、最新の技術に対する知識を持てるよう、学内での勉強会、意見交換会を積極的に行いたい。
- 2 歯科医療に関わる施設を連携できるように整えたい。

◆ 点検及び今後の課題 歯科衛生士科 14点

- 4 昨今起きると予想されている首都直下地震などによる同時多発火災も想定し、備える必要がある。

(7). 学生の受入れ募集

評価項目 適切…4、 ほぼ適切…3、 やや不適切…2、 不適切…1

| | | |
|--------------------------------|--------|---|
| 1. 学生募集活動は、適正に行われているか | | |
| | 歯科技工士科 | 4 |
| | 歯科衛生士科 | 4 |
| 2. 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか | | |
| | 歯科技工士科 | 3 |
| | 歯科衛生士科 | 3 |
| 3. 学納金は妥当なものとなっているか | | |
| | 歯科技工士科 | 3 |
| | 歯科衛生士科 | 3 |

現状

【歯科技工士科】

- 1 定期的に民間が主催するガイダンスに積極的に参加をしている。
出願については専修学校各種学校協会の取り決めに沿い、新卒者募集は10月以降の入学選考を行っている。
- 2 就職率、国家資格合格率や学生人数など正確に伝えられている。
- 3 関東首都圏の他の学校の平均的な水準で妥当である。

【歯科衛生士科】

1 適正である。

定期的な学校訪問と民間が主催するガイダンスに加え、年間12回のオープンキャンパスを実施している。

2 パンフレットや資料、を用いてわかりやすく、正確に説明を行っている。

また、オープンキャンパスやSNSでも周知している。

3 関東圏の衛生士専門学校と比べても金額を抑えており、妥当な金額と考える。

◆ 点検及び今後の課題 歯科技工士科 10 点

募集活動において変化した場合に対応をしていきたい。

接触機会が少なくなった場合など。

SNSの配信機会を増やし、日常の様子などが分かりやすく進路先として信頼されるよう努めたい。

◆ 点検及び今後の課題 歯科衛生士科 10 点

1、2 伝えたい事と入学希望者ニーズのすり合わせをする。

3 世の中の情勢や他校様の状況に応じ、適正に判断をしていく。

(8). 財務

評価項目 適切…4、 ほぼ適切…3、 やや不適切…2、 不適切…1

| | | |
|-----------------------------|----------|---|
| 1. 中長期的に学校の財務基盤は安定しているか | | |
| | 学校法人共生学園 | 4 |
| 2. 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか | | |
| | 学校法人共生学園 | 4 |
| 3. 財務について会計監査が適正に行われているか | | |
| | 学校法人共生学園 | 4 |
| 4. 財務情報公開の体制整備はできているか | | |
| | 学校法人共生学園 | 4 |

現状

- ・財務基盤は、学校建替えの予算をいれても計画通り安定的なものであると考えている。
- ・概ね計画通りである。消耗品に関しては、管理体制を見直しさらなる削減に努めたい。
- ・月に一度の月次決算により適正に行われていると考えている。
- ・HPIにより公開している。

◆ 点検及び今後の課題 学校法人共生学園 16点

- ・新校舎設立の為、多額の支出が予想される。改めて今後の収支を見直し今まで以上に安定した学校運営に努めていく。

(9). 法令等の遵守

評価項目 適切…4、 ほぼ適切…3、 やや不適切…2、 不適切…1

| | | |
|----------------------------------|----------|---|
| 1. 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか | | |
| | 学校法人共生学園 | 4 |
| 2. 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか | | |
| | 学校法人共生学園 | 3 |
| 3. 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか | | |
| | 学校法人共生学園 | 3 |
| 4. 自己評価結果を公開しているか | | |
| | 学校法人共生学園 | 4 |

現状

- ・各専門機関と密に連携を取り適正な運営に努めている。
- ・教職員又は学生の個人情報は事務所内の施錠出来る環境で保管している。
- ・自己評価の実施は行っており、問題点については、教職員会議にて協議し問題解決に向けての方針を決定している。
- ・公開している。

◆ 点検及び今後の課題 学校法人共生学園 14点

- ・2022年4月引渡し予定の新校舎移転に向けて法令、専修学校設置基準の遵守は徹底して行っていく必要がある。引き続き各専門機関とは綿密に打ち合わせをし、申請に漏れが無いように手続きを行っていく。
- ・紙媒体の個人情報管理はもとより、SNSへの投稿やPC内の情報管理など教職員の意識向上とセキュリティを強化し管理体制を構築していく。

4. 本年度の目標や計画の総合的な評価結果

新校舎引渡しを目前とし、現校舎での事業も残りわずかとなる。法人としては、いつも以上に慌ただしい年となるが第一に学生のことを考え、安心安全に学校生活を送れるようにしっかりと体制を構築していく。コロナウイルスを言い訳にすることなく全員が国家試験合格に向け一致団結していく。

【歯科技工士科】

- ・授業、教育の質の向上

学生全体ではもちろん個々の見極めを常に行い、学生支援を進めていきたい。国家試験合格については100%を維持し続けられるよう必要に応じて力を注ぐ時間を早期に増やし、結果のみにこだわらず、中間期間での学力向上を意識し、後半期には安心して臨むことが出来るようにと成果が発揮できるよう努める。

学生への対応に幅を広げられるよう、担当科目だけではなく、総合的に科目を理解し、指導力の強化を努めたい。

- ・早期の対応

精神面の不安、学力低下傾向にある学生への兆候は見逃さず早めの対応を行う。

基本的な生活習慣を意識させ遅刻・欠席を減少させられるよう担任の学級指導力が高められるよう努める。

・学生と教員間の信頼関係の構築

簡単には解決できない問題もあるが、最後までやり遂げられるよう粘り強く指導にあたり、信頼関係が構築できるよう努める。

・教育目的を意識させた運営

学生同士の人間関係、社会人としての自覚と常識(挨拶、見出しなみ、礼儀マナー)の教育を行っていく。

合同の授業などを通して、チーム医療の理解ができる協調性の指導にも努めていきたい。

【歯科衛生士科】

歯科技工士科との合同の講義や実習をさらに増やし、多職種連携への理解を深める事が出来た。

また、国家試験前の時期には校内でのコロナウイルスの蔓延を防ぐため、他学年の Zoom での講義や課題を行う事で、国試受験生を守り、他学年にも手を緩める事無く、教育が行えた。

1 学年

実習や掃除など、真剣に行えるようになるまで時間がかかった。

既に成績下位層に定着している学生には、フォローアップ体制を整える。

2 学年

臨床実習先からの評価が、成績としては例年通りだったが、実際に会議でお話を伺うと、かなり不真面目に実習を行っている様子が見えてきた。

3 学年

早期に国試対策に取り組んだ事により、成績中間層の引き上げが出来た。

しかし、下位層の成績が伸びるのに時間がかかった。また、インターネットなどに流出している模擬試験によりデータが乱れ、分析に支障が出た。途中からは対処できたが、理由に気付くのが遅れ、混乱した事で学力を伸ばしやすい時期に伸ばせなかった。

以上